

衛星を巡る諸問題に関する調査検討作業班の設置について（案）

1. 背景と目的

昨今、衛星を巡る環境は大きく変化しており、例えば複数の小型衛星が連携する「衛星コンステレーション」による通信、測位サービス等を提供するため、多数の衛星が軌道上に投入されることが予定・公表されている。

また、ITU-R では5G（第五世代移動通信システム）の実用化を目指した衛星分野の検討が開始され、我が国にも参画が求められている。このほか、衛星システムを航空機等の安全運航に活用するための検討が進んでいる。

こうした状況を受けて今後、新技術を取り入れて新たな利用分野を目指す多くの衛星サービスの開始が見込まれるところ、短期間に多数の免許申請等がなされた場合に技術検討や制度整備が間に合わず、事業に支障を来すおそれがある。

そのため国内外の衛星に関する動向等を調査のうえ、今後想定される課題を洗い出し、あらかじめ対処方策を講ずることを目的とし、衛星通信システム委員会の下に作業班を設置する。

2. 調査検討事項

- 国内外における新たな衛星システムの技術開発・実用化動向
- 衛星システムの新たな利活用動向
- 新たな衛星システムと他システムとの共用可能性
- そのほか衛星システムを巡る課題の抽出と対処方策の検討 等

3. 検討体制

構成員は衛星システムに関し知見を有する者の中から主査が指名する。

4. 今後のスケジュール

平成 28 年 12 月頃：作業班立ち上げ

平成 29 年 6 月頃：中間報告